

21 明治大正までに創設された東京の

私立精神科病院

金川 英雄

東京武蔵野病院

目的…明治大正創設の精神科病院、特に太平洋戦争終了時までには廃院になったものは資料が消失し場所さえも、忘れ去られようとしている。その歴史は火事などの災害、社会情勢による影響など現在と共通の問題も多く、我々に警鐘を鳴らしていると考え調査分析した。

方法…一八五六、一九〇七、一九三二、一九四一、二〇〇六年の地図と文献を照らし合わせながら精神科病院跡地を特定し現地調査をした。

結果…施設から病院、分院設立、統合、移転があり同経営の一九にまとめ、一八系統の病院の場所を地図で確定した。敷地が江戸期(一八五六)に大名旗本屋敷が七、寺社三、田畑八であった。

一八四六／一一／三(創設年月日以下同) 加命堂病

院—亀戸村の田畑(江戸期以下同)、一八七五／二加藤癲癩病院—榎原と平井屋敷一時田や菊畑、一八七九／五根岸病院(根岸国立病院)—日光街道金杉村田畑、一八九九／九／一五田端脳病院—与楽寺(現存)境内、一九〇〇／二／五戸山脳病院—大御番組(旗本)屋敷、一九〇一／九／二八王子脳病院(小峰病院)—両者とも日光御成り道(将軍参拝専用)田畑、一九〇一／一／五保養院—中仙道巢鴨村田畑や種畑、一九〇三／八／三一青山病院(帝国脳病院—藤堂和泉守屋敷一部)—百人組同心大縄地足地、一九〇四／三(には既にあり)宇津木病院—若狭小浜藩(福井)酒井修理大夫忠義—〇三五五八石屋敷一部、一九〇六／八井村病院—幡ヶ谷村田畑、一九〇八／八(一九〇七／二／二説あり)音羽療養所(小金井養生院)—寄合敷益次郎五〇〇〇石屋敷、一九〇八／八(一八九八年頃の可能性あり)山田病院(大久保脳病院—麟祥院敷地と柏木村田畑半々)—丹波福知山藩朽木近江守三二〇〇〇石や御小姓組中山植三郎一三〇〇〇石等の屋敷、一九〇九年(夏)佐野神経科—大阪御城代常陸土浦藩土屋采女正直直九五〇〇〇石屋敷一部、一九〇〇／四／一土田病院—江戸期は寛永寺学寮で明治は吉祥院と泉龍院境内、

一九一三/二/一三私立巢鴨病院—巢鴨村田畑や種畑、
 一九二三/三/一ゼームス坂病院—南品川宿、一九二
 四/九竜病院(竜医院) —中興御番能勢惣右衛門一五
 ○〇石屋敷一部、一九二六/五昭和大学付属烏山病院
 —田畑。(成立順、併記は系列等) 一八九〇/一〇/
 五東京養心院は不明。

現在も都内で存続は、根岸国立病院、土田病院、昭
 和大学付属烏山病院、医院として残るのは竜医院であ
 る。場所が特定され、都内で廃院となった一四系列の
 理由は太平洋戦争が八、火事二、都外へ移転一、その
 他四である。

考察・一 街道に面して凸型になっている精神科病
 院が五ヶ所(加命堂病院、王子脳病院、保養院、井村
 病院、私立巢鴨病院)ある。細い通路状あるいは先細
 りの敷地が、道路に接していて中は広い。いずれも中
 仙道、甲州街道、千葉街道、日光御成り道など古い街
 道沿いで成り立ちは田畑が特徴である。街道に面した
 場所は地価も高くにぎやかで精神科病院に不向きだっ
 たため通路分を確保し内側の田畑を買収したと思われ
 る。府立巢鴨病院(都立松沢病院の前身)も同様構造
 で、中仙道面は狭い。現在では駕籠町小学校、村田女

子高校、文京グリーンコート(複合開発)の一部がそ
 れにあたり、小石川高校は入らない。そこは江戸期の
 武家屋敷の縄張りとも関連がある。

二 太平洋戦争で廃院になった背景には、当時の政
 策で東京三五区内に精神科病院を置かないという圧力
 があったためである。戦局悪化につれ、食料事情悪化
 と患者数減少もあった。加命堂病院は一九四四年三月
 軍部による接收、田端脳病院は一九四四年一二月閉鎖
 を決意、青山病院は一九四五年三月三十一日東京都に移
 譲(都立梅ヶ丘病院に改名)、ゼームス坂病院は一九四
 三年軍需工場の付属病院に譲るなどである。拍車をか
 けたのが空襲で、確認できただけでも一九四五年四月
 九日、一三日に田端脳病院、王子脳病院、小峰病院、
 保養院、私立巢鴨病院、五月二五日に青山病院、井村
 病院が焼失した。

三 中仙道沿いに今でもにぎわう巢鴨高岩寺とげぬ
 き地藏(万病がとげを抜くように良くなる)のすぐそ
 ばに私立巢鴨病院、保養院があり神社仏閣との関連性
 が示唆される。徒歩圏に府立巢鴨病院もあった。